

イタリア通信 ~9月~

今年のワインは？

Genovaはゴロゴロと雷雨の日が増えてきて、日に日に秋の深まりを感じます。そして今年のイタリアの夏は干ばつで、雨がほとんど降らず猛暑であったため、ぶどうの収穫がだいぶ早まりました。

ワイン購入の際、ソムリエに今年のワインにつき話を伺いました。

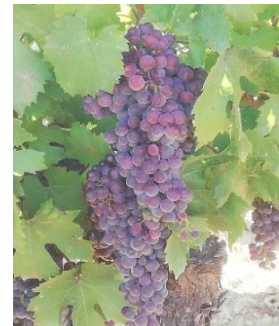
今年は記憶に残る記録的な猛暑だったため、ぶどうの成熟が良く、甘味のあるクオリティーの高いワインになるようですが、この気候の影響により、ワインの熟成に必要な酸味が少ないため、熟成期間が短くなってしまふとのことです。クオリティーには問題はないのですが、飲み頃が前倒しになることにより、他の年のワインと飲み頃が重なってしまうという販売上の問題が出てくるようです。ワインにはこういうメカニズムがあること、初めて知りました。

ワイン畑の近く、Genovaから電車で1時間のところに、通称ボルサリーノシティーと呼ばれる街が、アレッサンドリアです。

ハンフリー・ボガートがかぶっていた帽子、覚えていらっしゃいますか？

この世界的に大ヒットしたダンディーな帽子。第一次世界大戦前には、200万個あまりが製造され世界中に輸出されていました。この帽子の発案者が、ジュゼッペ・ボルサリーノで、世界的な有名ブランドに成長します。彼はこの収益から、アレッサンドリアに病院、学校、老人ホーム等を建設し、街の発展にも大きく貢献しました。

この流行はハリウッドに広まったため、世界中で人気を博し、その当時、男性の間ではこのタイプの帽子と言えば、“ボルサリーノ”だったとのことです。



カプチーノの世界チャンピオン

ボルサリーノの元本社の近くにカプチーノの世界チャンピオンが居ることを知り、行ってきました。イタリアのバルは通常にぎやか、そして食器の音ががちゃがちゃと騒々しいのですが、このお店は世界チャンピオンのバリスタの方の対応のせいか、とても穏やかな雰囲気。ワクワクしながらカプチーノを頂きました。たぶん今までの人生の中でNo.1ではないかと思えます。でも立ち飲みのみで、座ってのんびりとカプチーノを堪能できなかったのが残念です。カフェではイタリアの習慣ではなく、やっぱり座ってのんびり過ごすのが好きです。

このお店はお菓子も有名なようで、ショーケースの中のお店のスペシャルに目が留まりました。パネッtoneを小さくした感じで、中にはコニャックに漬けたアプリコットが混ぜ込んであるという言葉に魅かれ、すぐに自分へのお土産として購入してしまいました。そして翌日、このお菓子を堪能するため、時間を掛けてアイ스티ーを入れて朝食として頂きました。ちょっと感動の味でした！

